

連携プログラム／Affiliated Programs



記憶のスキャン —袁廣鳴のビデオアート 1992-2014

Scanning Memories: Yuan Goang-ming's Video Art 1992-2014

9月6日(土)・10月5日(日) ※9/16(火)は休み
三菱地所アルティウム(福岡市中央区天神1-7-11イムズ8F)
台湾をはじめ、国際的に高く評価される袁廣鳴の初期映像
インスタレーションから、最新作品までを一挙に展示。高い
撮影技術と圧倒的な映像美で、観客を魅せる。
一般400円、学生300円(FT5半券で100円割引)
artium.jp

ユエン・グァンミン(袁廣鳴)は、FT5参加作家



“直観”のジオラマ —九州・沖縄アーティストファイル断章 Intuitional Diorama: Finding Our Place in the World

9月4日(木)・28日(日) ※9/8(月)、9/16(火)、9/22(月)は休み／入場無料
福岡市美術館・特別展示室B(福岡市中央区大濠公園1-6)
九州・沖縄各県で活躍する若手アーティスト6人の作品を
紹介する現代美術展。『九州・沖縄アーティストファイル』
出版記念企画。
fukuokaarttips.blogspot.jp

FT5参加作家と本展出品作家による交流イベントを予定

本展(FT5)会期中、参加作家たちは周辺のアトスペースでも、同時期に開催する展覧会や映画祭に参加し、新作発表や
ワークショップなどを行います。("FT5"は、第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014の略称です。)



糸島国際芸術祭2014 糸島芸農 Itoshima Arts Farm 2014

10月11(土)、12(日)、13(月・祝)、18(土)、19(日) / 1,000円
福岡県糸島市二丈松末地区
収穫に喜ぶ秋、国内外のアーティストが糸島に集う。今年の糸
島芸農のテーマ「稲荷」を年間を通してリサーチした「イナリ
サーチ」の成果も展覧会に反映され、1年の活動の収穫を喜ぶ
祝祭となる。期間中はダンサーや音楽家らによるギャラリ
ーツアー、最終日19(日)には内山節トクイベントを実施。
ito-artsfarm.com

FT5参加作家ジハン・カリムと牧園憲二が新作を共同制作



アジアフォーカス・福岡国際映画祭2014 Focus on Asia International Film Festival Fukuoka

9月12日(金)・21日(日) / 有料 ※詳細はウェブサイトへ
ユナイテッド・シネマ キャナルシティ13、福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ など
アジア各国・地域の新作や日本未公開の秀作映画を15作
品程度(公式作品)、協賛企画を含め100本以上の作品を
上映。映画監督や出演者等をゲストに迎え、舞台挨拶やサ
イン会なども実施。
focus-on-asia.com
「FT5ボタン映画特集」として、FT5作家ベマ・ツェリン
とデチェン・ロデル作品を公式上映、上映後はベマの
トークあり。



希望の家:モンティエンへのオマージュ ナウインからの手紙 House of Hope: Homage to Montien/ A Letter from Navin

9月6日(土)・23日(火・祝) ※9/9(火)、9/16(火)は休み / 入場無料
紺屋2023 konya-gallery(福岡市中央区大名1-14-28 第一
松村ビル201+202)
福岡を拠点にグローバルな活躍を続けるタイ出身のアーテ
ィスト、ナウイン・ラワンチャイクンによるモンティエン・ブンマ
への追悼を表すビデオ・インスタレーション。
konya2023.travelers-project.info

過去の福岡トリエンナーレに出品した2人の作家による展覧会

あじびのなかでも
ワクワクしている
福岡アジア美術館 7F 彫刻ラウンジ

ほころびポスト
—あなたの思いを届けます—

FT5特別
ミニミュージアム
を期間限定販売!

カフェ
FAAM CAFE
REC COFFEE

ミュージアム・ショップ
uchu-do
space

第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014

未来世界のパンノラマ — ほころぶ時代のなかへ

福岡アジア美術館・周辺地域

2014年9月6日(土) — 11月30日(日)

午前10時 — 午後8時 (入場は午後7時30分まで) / 水曜休館

※美術館以外の会場は、公開時間が異なることがありますので、ウェブサイト等でご確認ください。

The 5th Fukuoka Asian Art Triennale 2014

PANORAMA OF THE NEXTWORLD: Breaking out into the Future

Fukuoka Asian Art Museum and its vicinity

Saturday 6 September — Sunday 30 November 2014

10:00-20:00 (Last Admission at 19:30) / Closed on Wednesdays

*Opening hours of each venue may differ from the museum's. For more info, please check out our website.

【主催】第5回福岡アジア美術トリエンナーレ実行委員会

(福岡アジア美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送)

【後援】外務省、参加各国駐日大使館、福岡市教育委員会

【助成】一般財団法人地域創造 芸術文化振興基金

公益財団法人 博多芸術振興財団 公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人 吉野石膏美術振興財団 asian cultural council 福岡文化財団

【協賛】博多リバーライン 精水ハウス株式会社 JR九州

西日本シティ銀行 西部リース 福岡銀行 Nishitetsu 福岡電力

【協力】TSUTAYA 釜山ビエンナーレ組織委員会

NECディスプレイソリューションズ(株) 音楽塾ヴォイス

【イメージング】『タイトル未定』家入レオ (楽曲プロデュース: 西尾芳彦)

相互協力展 / Cooperate with

2014釜山ビエンナーレ: 9月20日—11月22日 / 釜山市立美術館ほか

Busan Biennale 2014: 20 September—22 November / Busan Museum of Art, etc.

busanbiennale.org

お問合せ先 / Contact 福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階

7, 8th Floor, Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan

Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105 Web: faam.city.fukuoka.lg.jp

福岡アジア美術トリエンナーレ公式ウェブサイト

fukuokatriennale.ajibi.jp

Fukuoka Triennale/

福岡トリエンナーレ

観覧料 / Tickets

	一般	一般前売(※)	高大生	高大生前売(※)
ワンデーパス	1,500円	1,000円	1,000円	500円
フリーパス	2,000円	1,500円	1,500円	1,000円

(※)は前売り、20人以上の団体、満65歳以上で年齢確認のための健康保険証や運転免許証等の提示者の料金。

●次の方は無料になります。中学生以下、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者
本人と介護者1人、特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾患
医療受診券の提示者本人。●前売券は、ローンチケット(コード86956)、チケットぴあ(Pコード766-277)、
アトリエ(福岡アジア美術館内)で発売 ●2014釜山ビエンナーレ「チケット半券提示者は、本展の入場無料

	Adult	Adult (*)	High School / College Student	High School / College Student (*)
One-Day Pass	¥1,500	¥1,000	¥1,000	¥500
Free Pass	¥2,000	¥1,500	¥1,500	¥1,000

(*) indicates the prices of an advanced ticket, individuals in a group of 20 or more, senior citizens
over 65 (proof of age necessary).

●Free for Junior High School Student and Under ●Advance tickets are available at Lawson Ticket (L Cord
86956), Ticket PIA (P cord 766-277), and Artlier Ticket Counter at Fukuoka Asian Art Museum ●Free
admission is offered for ticket stub holders of Busan Biennale 2014. Please present the stub at the entrance.

交通案内 / Transportation Access

【市営地下鉄】
中洲川端駅下車、6番出口より徒歩すぐ
福岡空港から 福岡空港駅より9分
JR博多駅から 博多駅より3分
西鉄福岡駅から 天神駅より1分

【西鉄バス】
川端町・博多座前バス停下車、徒歩すぐ

【車】
太宰府方面から 都市高速千代ランプより車で約7分

北九州方面から 都市高速呉服町ランプより車で約5分

※昭和通りより、博多リバーライン地下の駐車場(有料)を
ご利用ください。

By City Subway
The Museum is located above Nakasu-Kawabata
Station #6 Exit.

From Fukuoka Airport: 9 minutes

From JR Hakata Station: 3 minutes

From Nishitetsu Fukuoka Station: 1 minute

By Nishitetsu Bus
Kawabata-machi Hakataza-mae bus stop

By Car
From Dazaifu: 7 minutes from the Chiyo Ramp on the
Urban Expressway

From Kitakyushu: 5 minutes from the Gofukumachi
Ramp on the Urban Expressway

*Entrance to Hakata Riverain Bldg. underground
parking is on Showa-dori.



第5回 福岡アジア美術 トリエンナーレ2014

The 5th Fukuoka Asian Art
Triennale 2014

未来世界のパンノラマ — ほころぶ時代のなかへ
PANORAMA OF THE NEXTWORLD: Breaking out into the Future

9/6^[土]—11/30^[日]
福岡アジア美術館・周辺地域
／水曜休館

Saturday 6 September — Sunday 30 November

Fukuoka Asian Art Museum and its vicinity

Closed on Wednesdays



福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

Asian Party



未来世界のパノラマ — ほころび時代のなかへ

PANORAMA OF THE NEXTWORLD: Breaking out into the Future

私たちが思い描く
未来とは、どのような
世界でしょうか。

すべてが満たされたユートピアの到来を信じる人は、もはやどこにもいないでしょう。私たちのこれからは、目の前にある世界、たとえそれが迷宮のような混沌とした現実であったとしても、その矛盾や限界に向き合うことでしか始まらないはず。未来世界のパノラマとは、そうした無数の「ほころび(破綻)」を見つめる勇気と知性によって拓かれる、新しいビジョンなのです。

本展で紹介するアーティストたちの鋭い問題意識と、さまざまな限界から逸脱・拡張していく自由な想像力は、私たちに未来世界の「ほころび(誕生)」を予感させてくれることでしょう。

HOW DO YOU PICTURE THE FUTURE WORLD IN YOUR MIND?

It seems that there is nobody left who believes in the arrival of a utopian world filled with ideals. The way to our future can only be paved by confronting our present world and its contradictions and limitations, even though our world is in a labyrinthine and chaotic reality. "Panorama of the NextWorld" is a new vision that is reached by our minds through the courage and intelligence that enables us to perceive the countless contradictions and fault-lines in our real world.

Thanks to our featured artists' shrewd perception of problems and rich creativity, demonstrating deviations and expansions which challenge limitations, the 5th Fukuoka Asian Art Triennale 2014 helps us to visualize a future where dissolution gives away to a new creation.

参加作家 / Participating Artists

[36人・組/21カ国・地域 / 36 artists from 21 countries and regions]

グローバルイズムの果てから

From the Far Corners of Globalism

ブラバカル・パーチュプター [インド]
Prabhakar Pachpute [India]
ラティエシュ T. [インド]
Ratheesh T. [India]
スニール・シグデル [ネパール]
Sunil Sigdel [Nepal]
ブンポール・ポーティザン [ラオス]
Bounpaul Phothyzan [Laos]
プリラ・タニア [インドネシア]
Prilla Tania [Indonesia]



共同性という幻想

Beyond the Collective Illusion

プラディープ・タラワッタ [スリランカ]
Pradeep Thalawatta [Sri Lanka]
チュラヤーンノン・シリポン [タイ]
Chulayarnnon Siriphol [Thailand]
シャーマン・オン [マレーシア]
Sherman Ong [Malaysia]
アニダ・ユー・アリ [カンボジア]
Anida Yoeu Ali [Cambodia]
スタジオ・レボルト、菅野将弘、コーサル・キエフ [カンボジア]
Studio Revolt, Sugano Masahiro, Kosal Khiev [Cambodia]
グエン・チン・ティ [ベトナム]
Nguyen Trinh Thi [Vietnam]
ムン・キョンウォン & チョン・ジュンホ [韓国]
Moon Kyungwon & Jeon Joonho [Korea]
WATAGATA福岡釜山アートネットワーク [日本・福岡]
WATAGATA Arts Network [Fukuoka, Japan]



日常のなかの消失点

Into the Dead Zone

デチェン・ロデル [ブータン]
Dechen Rodger [Bhutan]
ペマ・ツェリン [ブータン]
Pema Tshering [Bhutan]
ジハン・カリム [バングラデシュ]
Zihan Karim [Bangladesh]
ミン・ティエン・ソン [ミャンマー]
Min Thein Sung [Myanmar]
ター・モウ・ナイン [ミャンマー]
The Maw Naing [Myanmar]
ファン・クワン [ベトナム]
Phan Quang [Vietnam]
モハンマド・アリノミン・オムラリ [ブルネイ]
Muhammad Alinormin Hj Omarali [Brunei]
キリ・ダレナ [フィリピン]
Kiri Dalena [Philippines]
ハグヴァドルジ・エンフバット [モンゴル]
Lkhagvadorj Enkhbat [Mongolia]
ナンディン・エルデネ・バドゥザグド [モンゴル]
Nandin-Erdene Budzagd [Mongolia]



イメージの錬金術

Through Visual Transmutations

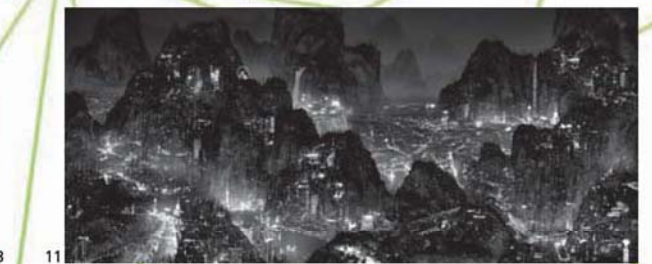
ハイダール・アリ・ジャン [パキスタン]
Haider Ali Jan [Pakistan]
ローヒニー・ディヴェーシャル [インド]
Rohini Devasher [India]
コビール・アフメッド・マサム・チスティー [バングラデシュ]
Kabir Ahmed Masum Chisty [Bangladesh]
チェン・イージェ (陳怡潔) [台湾]
Agi Chen [Taiwan]
ユエン・グアンミン (袁廣鳴) [台湾]
Yuan Goang-ming [Taiwan]
チェ・ジョンファ (韓國)
Choi Jeonghwa [Korea]
あのラボ [日本・福岡]
anno lab [Fukuoka, Japan]



素晴らしき新世界へ

Towards a Brave New World

メヘリン・ムルターザ [パキスタン]
Mehreen Murtaza [Pakistan]
ファンク [シンガポール]
PHUNK [Singapore]
ブー・ホア (卜樺) [中国]
Bu Hua [China]
ルー・ヤン (陸揚) [中国]
Lu Yang [China]
ヤン・ヨンリアン (楊泳梁) [中国]
Yang Yongliang [China]
よしながこうたく [日本・福岡]
Yoshinaga Koutaku [Fukuoka, Japan]



1. ハグヴァドルジ・エンフバット《草原の羊の群れと私》2011. Lkhagvadorj Enkhbat I am with a Flock of Sheep in Prairie / 2. プラディープ・タラワッタ《ロードスケープ》2012(部分) Pradeep Thalawatta RoadScape (detail) / 3. ムン・キョンウォン & チョン・ジュンホ《妙郷商館》2014. Moon Kyungwon & Jeon Joonho Myohyangsangwan / 4. アニダ・ユー・アリ《仏教道一学食にて》2012. Anida Yoeu Ali Buddhist Bug-Campus Dining / 5. ミン・ティエン・ソン《異界(馬)》2011. Min Thein Sung Another Realm (Horse) / 6. よしながこうたく《給食番長》2007. Yoshinaga Koutaku Kyushoku Bancho (School Lunch Bosses) / 7. ローヒニー・ディヴェーシャル《ドッペルゲンガーII》2011. Rohini Devasher Doppelganger II / 8. チェン・イージェ (陳怡潔)《ミニ・ザ・ミックスの同心円肖像画 1990年代-2013年》2013(部分) Agi Chen Rotatory Portrait of Minnie the Mixx 1990s-2013 (detail) / 9. メヘリン・ムルターザ《フーバ・フーバ(未来派風に食べる)》2011. Mehreen Murtaza Fuva Fuva (Tastes like Futurism) / 10. ブー・ホア(卜樺)《未来荒》2007. Bu Hua The Last Phases of the Future / 11. ヤン・ヨンリアン(楊泳梁)《極夜之昼》2012. Yang Yongliang The Day of Perpetual Night ※写真はすべて参考作品。

アーティスト滞在スケジュール / Artists in Residence : Schedule

アジア各地から来福する17組の作家や福岡を拠点とする作家が「交流プログラム」を展開します。新作の制作のほか、ワークショップ、パフォーマンス、上映会、トークなど参加できるプログラムも多彩です。

00/00-00/00 アーティスト滞在予定期間
00/00 アーティストトーク開催日

	7/3-9/8 9/7	ミン・ティエン・ソン 巨大なおもちゃの戦車を布で制作し、天井から吊るして展示。制作には一般参加できる。
	7/30-9/9 9/7	プリラ・タニア 食品の包装紙による切り紙のインスタレーションを制作。オープニングイベントも予定。
	8/1-8/22	チェ・ジョンファ 空間を一変させる! 館内や街中のビルの柱をカラフルな韓国の日用品のザルで取り巻く。
	8/6-9/9 9/7	メヘリン・ムルターザ 内側から神秘的な詠唱が聞こえてくる大きな球体インスタレーションを制作。
	8/26-9/15 9/13	スニール・シグデル 働く子どもの手が印刷された布にヘナで模様を描くワークショップ。オープニング・パフォーマンスを予定。
	9/1-9/21 9/20	ファンク 館内最大の壁面に、新作を滞在制作し、漫画や文字などのプリントを貼り重ねていく。
	9/3-10/14 10/13	ヤン・ヨンリアン(楊泳梁) 福岡の都市や自然の風景、日本伝統文化などを調査して、新作映像作品を制作。
	9/9-9/29 9/27	ローヒニー・ディヴェーシャル 壁面に増殖していく、有機的なイメージの巨大ドローイングを、木炭やクレヨンで描く。
	9/10-9/29 9/27	ブラバカル・パーチュプター インドの炭鉱をテーマとする作家が、福岡の炭鉱を調査し、インスタレーションを制作。
	9/11-10/14 10/12	ペマ・ツェリン 作家の原作をもとに、福岡の漫画家と新作漫画を制作。「アジアフォーカス・福岡国際映画祭」にも出品。

	9/17-10/7 10/4	アニダ・ユー・アリ テキストスタイルを使い、女性をテーマにパフォーマンスとインスタレーションを発表。
	9/18-10/14 10/12	キリ・ダレナ 政治デモのスローガンをまとめた本の制作。またテラコッタで壊れた人体の制作も予定。
	9/18-10/28 10/25	ジハン・カリム 福岡の映像作家と共同で新作ビデオを制作し、屋外で上映。「糸島国際芸術祭」にも参加。
	10/23-11/25 11/22	コビール・アフメッド・マサム・チスティー 夢をテーマに子どもたちが描いたたくさんの絵でアニメーションを制作。
	10/29-11/18 10/13	ナンディン・エルデネ・バドゥザグド モンゴルや日本のファッション雑誌の切抜きを用いて、コラージュ作品を制作。

	11/19-11/25 11/22	ルー・ヤン(陸揚) 映像作品《子宮戦士》のゲーム化に着手。福岡の大学生と共同でゲームを制作。
	11/26-12/1 11/30	ブー・ホア(卜樺) クロージング・イベントとして、トークと作家のフラッシュ・アニメの過去作品を一挙上映。
福岡在住の参加作家 / Local Artists		
	WATAGATA福岡釜山アートネットワーク 福岡・釜山を往き来する芸術家ネットワークが「15歳の少女」をテーマに美術、演劇、ゲーム等が交錯する作品を発表。美術：田中千智(福岡)とチョン・アルム(釜山)ほか。演劇：劇団「14+」と釜山の劇団、公演 9月15日(祝)あじびホール、11月 釜山(予定)。	
	あのラボ 子どもも大人も参加できるテクノロジーを使った楽しいワークショップ。	
	よしながこうたく 9月14日(日)、10月5日(日)にワークショップ「番長、きたる! 読み聞かせ&ライブイベント」開催。	

特別部門 モンゴル画の新時代 — 伝統から現代へ

Special Section New Era of Mongolian Painting — From Tradition to the Modernity

今回の第5回福岡トリエンナーレでは、21カ国・地域の若手作家を個々に紹介することに加え、現代モンゴル画を紹介する「特別部門」を設けます。これは、ある地域やジャンルの新しい動きをまとめて伝える部門です。

近年、これまでの伝統的なモンゴル画の表現を革新するような新潮流——現代の社会問題や女性の感性に注目するテーマに、ダイナミックな構図の実験などが生まれています。この変化を牽引する新進気鋭の作家10人の約30点の作品を一挙に展示することで、モンゴル画の最新動向をお伝えします。



ゲレルフー・ガンボルド《欲望》2012 Gerelkhua Ganbold Lust
ウルジクハント・オノン《父の不在》2013 Urjinkhand Onon Absence of Father

キリ・ダレナ《流失》2012 Kiri Dalena Washed Out

ヨコハマトリエンナーレ2014
Yokohama Triennale 2014

「華氏451の芸術: 世界の中心には忘却の海がある」
"ART Fahrenheit 451: Sailing into the sea of oblivion"

8月1日(金) - 11月3日(月・祝) 横浜美術館、新港ピア

「第10話 洪水のあと」には、過去4回の「福岡アジア美術トリエンナーレ」から福岡アジア美術館に収蔵された作品と、本展参加のキリ・ダレナ作品が新港ピア会場で展示される。

Yokohama Triennale 2014

※写真はすべて参考。※滞在期間と交流プログラムの内容は、変更する場合があります。※最新情報は、公式ウェブサイトにてご確認ください。

fukuokatriennale.ajibi.jp